

Jin SatoのMINDSTORMSな日々 第18回

回転センサーを使ってみよう

じん さとう
Jin Sato

RISには付属してきませんが、RCXで回転センサーや温度センサーを利用することができます。今回は便利な回転センサーについて説明をしてみましょう。
なお、回転センサーはMINDSTORMS関連の商品を扱っているショップで、通信販売などで購入することができます。



回転センサーの説明

写真1が回転センサーです。大きさは2×4の標準ブロックと同じ大きさで、厚みが2個分あります。側面には写真2のようにシャフトを通すための穴があいています。



回転センサーを使ってみよう

回転センサーを使うためには、RISに付属するソフトRCX CODEの設定を変更する必要があります。

具体的にはスタート画面から、設定ボタンを押して設定画面を出します。そして、その中にある、詳細ボタンを押して図1の詳細設定画面に進んでください。

そして、その詳細設定画面の中にある「RCXコードセンサー」の中の「回転」にチェックをして、承認ボタンを押します。

この操作をすることで、プログラムするときに回転センサー関連のコマンドを利用することができるようになります。

さて、早速作ってみたのが図2のプログラムです。

回転センサーのリセットは「スモールブロック」の中にある「リセット」のグループの中にあります。

また、値の表示は同じく「スモールブロック」の中にある「通信」の中にあります。



図1：回転センサーのオプションを変更する

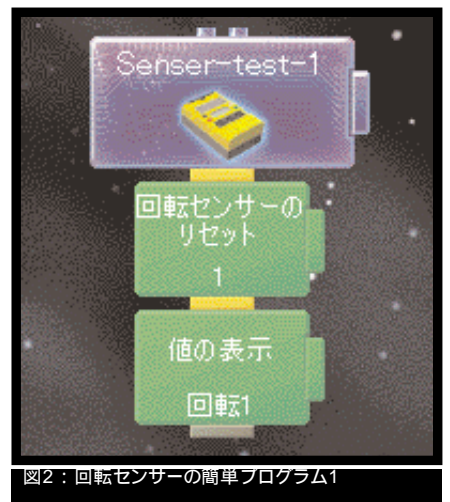


図2：回転センサーの簡単プログラム1

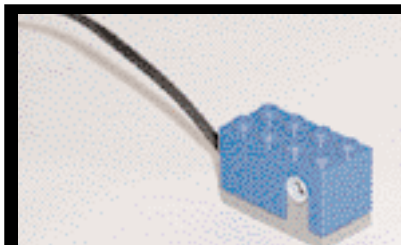


写真1：回転センサー

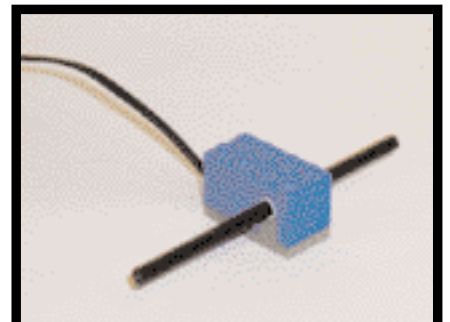
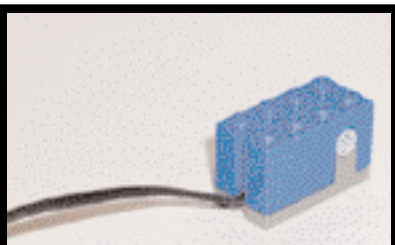


写真2：回転センサーにシャフトを通す